



関西医科大学 大学院医学研究科

The Graduate School of Medicine Kansai Medical University

進化する、大学院。



入学相談
随時受付

メールや電話でも
受け付けます。

学位取得に向け多様なコースを設けています。
各種コースを利用して自身のキャリアパスを大きく展開しませんか。

研究者として自立し 国際的に研究活動を行うに 必要な高度の研究能力と 指導的立場たるにふさわしい 豊かな学識と人間性を養います

医学研究科では、多様なバックグラウンドを持つひとをサポートする体制が整っています。

授業料免除制度 基礎社会系専攻学生、社会人学生、がんプロフェSSIONALコース生は授業料が免除されます。※1

社会人コース 各種医療機関、官公署・民間会社等に在職しながら学ぶことができます。

長期履修制度 社会人等、研究時間に制限のある方は5年間で学位を取得することができます。※2

本学では、幅広い分野の最先端機器を揃えた共同研究施設と最新鋭の動物実験施設を備えている他、臨床研究支援センターも設置しています。附属病院にも直結していることで、基礎研究、臨床研究ともに、進めやすい環境が整っています。

ハード面、ソフト面双方を充実させた大学院は、高度な専門的知識と研究能力を有した指導的立場に立つ医師・研究者を育成していきます。

※1 収入の審査がありますが、臨床医以外の殆どの学生が授業料免除されています。 ※2 授業料の合計は通常の4年間のコースと同額です。

CAREER PASS キャリアパス



学生納付金

- 入学金 200,000円
- 授業料(実習費共) 500,000円(年額) ※長期履修制度を利用の場合は 400,000円(年額)
- 学生教育研究災害傷害保険加入料(4年間) 3,300円

INTERVIEW

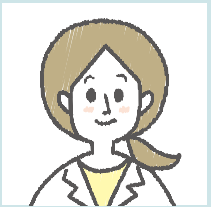
在学生インタビュー



臨床神経科学専攻（平成30年度入学）
第2学年 峠 理絵

私は、早く大学院で学びたいと思っていたものの、結婚、夫の転勤、出産などが重なり、気がつくとも臨床ばかりを長い間続けていました。そのような中再び、大学院で病気に向き合って研究をしたいと思う気持ちが強くなったため、本学大学院への進学を決めました。

本学の良いところは、素晴らしい機材がいつでも使え、教わりやすいと思えば各教室の先生とも交流しやすいところです。研究を進めていくと、世界初の発見は結構あるものだと感じます。みなさんと一緒に研究できることを楽しみにしています。



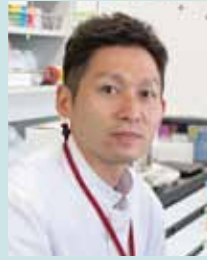
血液・呼吸器・膠原病・感染症内科学専攻
(がんプロフェッショナル特別学生)
(平成28年度入学)
第4学年 坪倉 幸恵

血液分野での臨床現場を経験し、近年急速に発展する治療を目の当たりにしてきました。その中で、基礎研究に触れることで理解をさらに深め、今後の診療の幅を広げることができればと考え大学院へ進学しました。

現在は、主にマウスモデルを使用して日々研究を行なっています。先生方の指導はもちろん、総合研究施設や実験動物飼育共同施設を初心者でも広く利用できるよう、専属スタッフの方々が丁寧にバックアップをしてくださる他、他の研究室の先生方から助言をいただく機会も多く、非常に恵まれた環境です。

大学院で得た知識や技術により、基礎・臨床に関わらず新たな視点や考え方を得ることができ、非常に有意義な機会であると感じています。

修了生インタビュー



眼科学専攻（平成30年度修了）
盛 秀嗣

中高年の失明原因第4位である加齢黄斑変性に対しては根治療法がありません。そこで、私は加齢黄斑変性の病態の完全解明のため、大学院に進学し研究を開始しました。私はブルッフ膜弾性板に着目し、弾性線維研究を行っている薬理学講座と共同研究を行っています。学位取得後の現在も、目標達成のために研究を継続しています。

大学院に進学する意義は、リサーチマインド(探究心、好奇心、研究心)を養うことができることです。大学院時代にリサーチマインドを会得したことで、幅広い知識や技術を体得し、学位だけでなく、卒業後の自分自身の可能性が大きく開けました。

是非とも、多くの先生方が大学院に進学してほしいと思います。



小児科学専攻（平成30年度修了）
木野 仁郎

私は医学部を卒業した後、4年目で大学院へ進学し、9年目に学位を取得しました。

大学院では小児科学講座の研究テーマであったネフローゼ症候群の病因論、またステロイドに代わる新規治療薬に関する研究を中心に行っていました。研究過程においては海外の研究機関への留学機会にも恵まれ、自分自身の成長にも繋がったと感じています。現在は臨床の現場に戻ってきていますが、経験する各疾患がどこまで明らかになり、何が分かっているのかといったメカニズムを意識するように心掛けています。

まだまだ研鑽が必要な身ではありますが、基礎研究に従事した経験を臨床へ昇華できるように日々頑張りたいと思います。

CURRICULUM PICK UP カリキュラム

研究分野の垣根を越えた指導を受けられる！

選択必修コース

他の研究分野の人たちとグループを形成し、定期的なコースミーティングや年に1度のリトリート(合宿)を行うカリキュラムです。自身の研究について他分野の教員から違う視点でアイデアやアドバイスを受けることができます。また、最新の基礎医学の知識をアップロードすることが可能です。



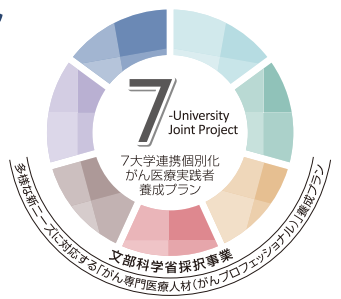
リトリートでの発表の様子

- 細胞の増殖と分化コース
- 体の高次機能コース
- 形態形成と老化コース
- 社会と健康コース

がんについて専門的に学べる！

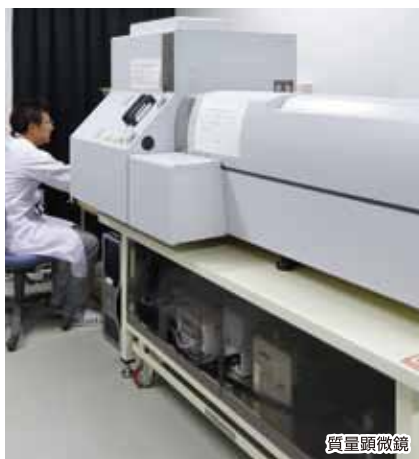
がんプロフェッショナル履修コース

ゲノム医療、希少がん・小児がん、ライフステージ(AYA世代～高齢者)ごとに生じる様々な問題に適切に対応し、科学的合理性と倫理的妥当性に基づいた、患者中心の個別化医療を実現できる高度ながん専門医療人を養成するコースを設けています。



- 地域がん医療発展型臨床腫瘍学コース
- 地域がん医療発展型放射線腫瘍学コース
- 地域医療密着型先進的がん治療学コース
- 希少がん・小児がん挑戦型臨床腫瘍学コース

附属生命医学研究所



質量顕微鏡

総合研究施設

総合研究施設は、附属生命医学研究所の共同利用研究部門として所属講座にかかわらず研究者が広く利用できる施設です。

セルソーター、質量分析器、電子顕微鏡、DNAシークエンサー、各種の蛍光顕微鏡など、最新の機器が揃っており、オープンラボ形式の臨床系総合研究施設も設置し、本学の研究活動を支える中心施設となっています。



SPECT / CT

アイソトープ実験施設

アイソトープ実験施設は、放射性同位元素を用いて研究するための共同実験施設です。

施設内には、液体シンチレーションカウンターやガンマカウンターなどの放射線測定器をはじめ、細胞や小動物に放射線照射をするためのガンマ線照射装置、最新のイメージング機器であるSPECT/CTやX線透視装置などが揃っており、基礎的な実験から小動物のイメージングまで幅広い実験が可能な環境です。



個別換気式ゲージによるマウス飼育管理

実験動物飼育共同施設

実験動物飼育共同施設は、社会的・科学的に適正な動物実験を保障するための環境を整備し、実験動物を飼育しています。

施設には、SPFおよびコンベンショナルな環境での各種動物の飼育室の他に、実験室、胚操作室、検疫室などを備え、研究者の動物実験をサポートしています。本学でも動物実験によって、再生医学・免疫学・神経科学・幹細胞生物学等の分野で数多くの画期的な成果が得られました。

令和2年度
募集

一般入試 通常4年コース・がんプロコース

社会人入試 通常4年コース・長期履修5年コース・がんプロコース

外国人入試 通常4年コース〈前期のみ〉

	前期	後期
定員	50名	
出願資格審査書類 受付期間	令和元年 6月26日(水)～ 令和元年 7月10日(水)	令和元年 11月27日(水)～ 令和元年 12月11日(水)
願書受付期間	令和元年 7月17日(水)～ 令和元年 8月21日(水) (※外国人入試は9月6日(金)まで)	令和2年 1月6日(月)～ 令和2年 1月22日(水)
入学試験期日	令和元年 9月7日(土)	令和2年 2月1日(土)

募集要項はホームページに掲載していますので、ご参照ください。 <http://www.kmu.ac.jp/juk/gsreb.html>



関西医科大学
KANSAI MEDICAL UNIVERSITY

関西医科大学 大学事務部 学務課 大学院係
〒573-1010 大阪府枚方市新町二丁目5番1号

TEL 072-804-2305 (内線 2225)

E-mail gradumed@hirakata.kmu.ac.jp

《学務課カウンター願書受付時間》 平日 午前9時～午後4時30分/第1・3・5土曜日 午前9時～正午
※第2・第4土曜日、日曜日、祝日を除く。